

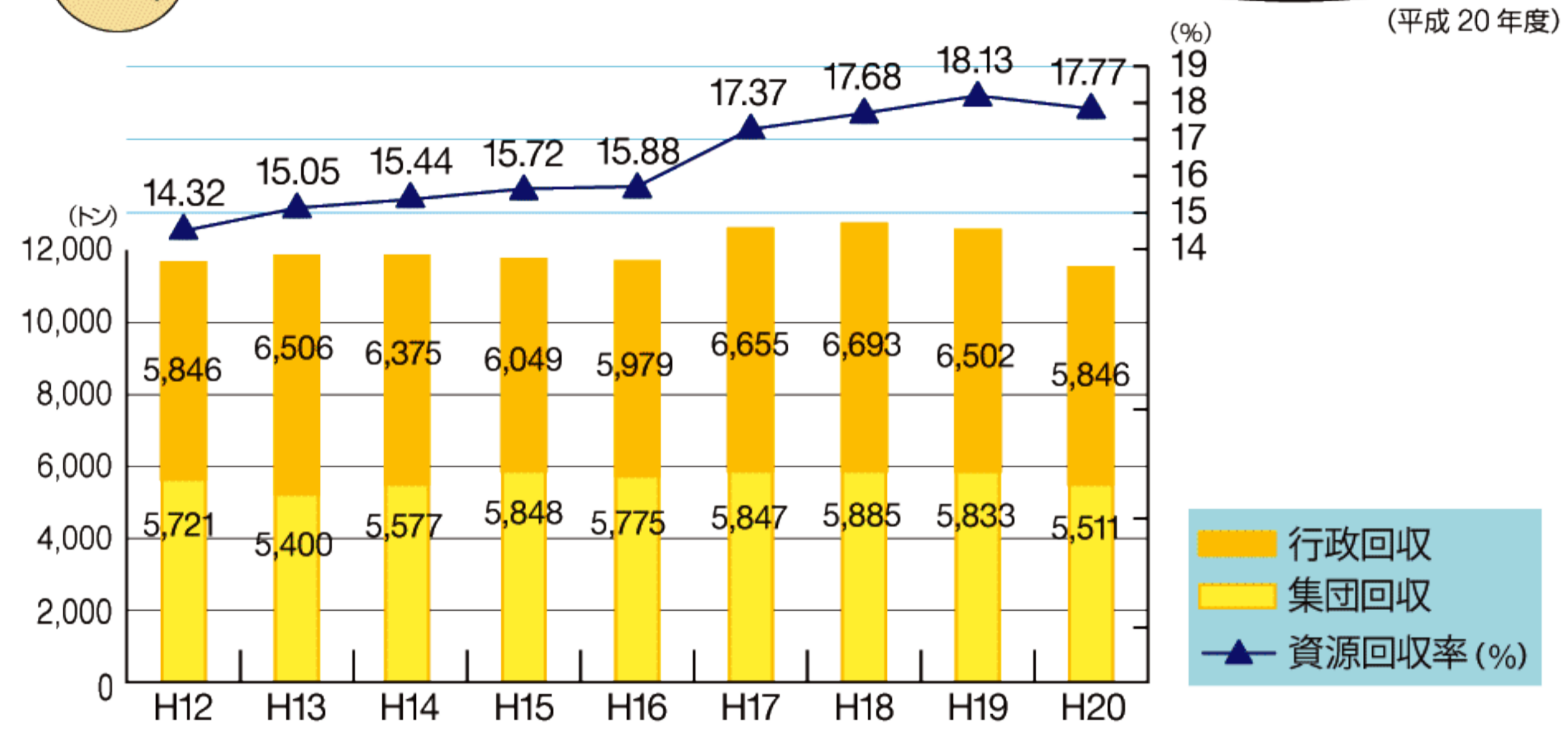
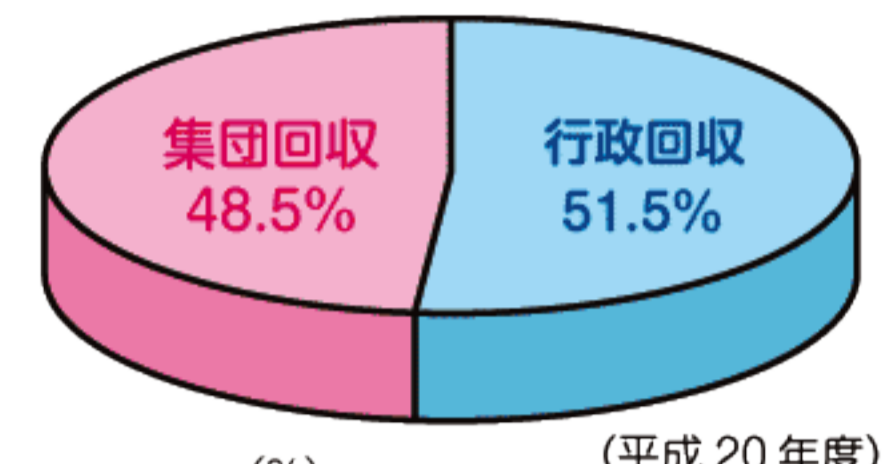
資源の量と処理費用

台東区の資源回収量は、平成12年度以降ほぼ横ばいで推移しており、平成20年度は約1万1,000トンとなっています。その一方で資源回収率は徐々に高くなってきており、平成20年度は約17.8%となっています。

台東区では集団回収と集積所回収を中心とした行政回収により資源を回収していますが、このうち約半分を占める集団回収は、分別がしっかりとされ、収集・運搬の効率も良いことから理想的な回収方法です。



集団回収は10世帯以上集まれば始められるんだって。詳しくは21ページを見てね。



資源回収量の推移

年度	12	13	14	15	16	17	18	19	20
資源回収量 (a)	11,567	11,906	11,952	11,897	11,754	12,502	12,577	12,335	11,357
行政回収	5,846	6,506	6,375	6,049	5,979	6,655	6,693	6,502	5,846
集団回収	5,721	5,400	5,577	5,848	5,775	5,847	5,885	5,833	5,511
行政ごみ収集量 (b)	69,183	67,193	65,438	63,775	62,283	59,475	58,561	55,717	52,553
合計(a+b)	80,750	79,099	77,390	75,672	74,037	71,977	71,138	68,052	63,910
資源回収率 (%) (a/a+b)	14.32	15.05	15.44	15.72	15.88	17.37	17.68	18.13	17.77

※端数処理の関係上、行政回収量と集団回収量の合計が資源回収量(a)と一致しないことがあります。

答え.8 >> ① 制服

使用済みペットボトルは繊維製品などの材料として再利用できます。しかし、再利用できるからといって、大量に出してしまえば、再利用するために多くのお金や、エネルギーが使われます。一番重要なのは、使い捨て商品なるべく使わないことです。

台東区の1年間の資源回収量(20年度)

行政回収(集積所回収+拠点回収)

品目	古紙	かん	びん	ペットボトル	食品発泡トレイ・カップ	廃食用油	乾電池	古布	ビデオテープ類	合計
量(kg)	2,582,550	489,654.6	1,955,299	690,807	41,825.7	6,925	12,070	47,470	19,460	5,846,061.3

集団回収

品目	古紙	かん	びん	古布	その他	合計
量(kg)	5,431,512	55,885.9	3,888.1	19,206	105.2	5,510,597.2

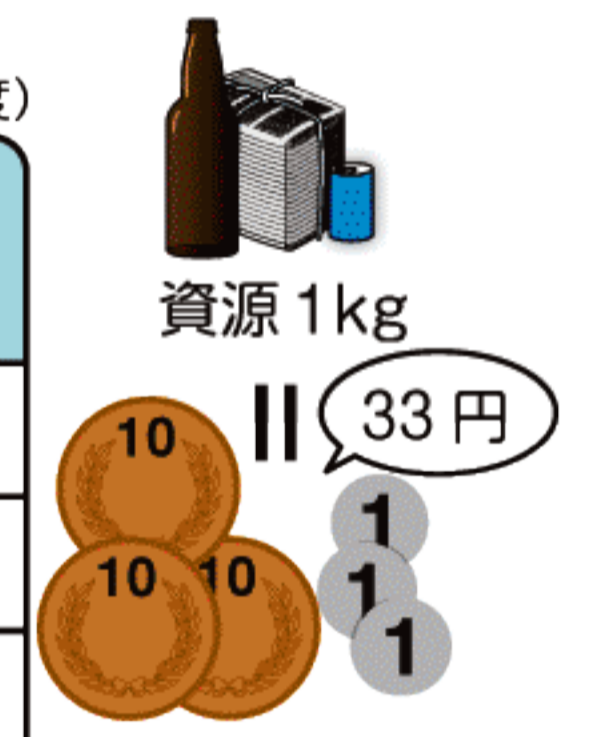
資源の処理にかかる経費

台東区の資源回収にかかる経費は、1kgあたり約33円です。資源は品目によって回収の効率や処理方法が異なるため、経費には大きな違いが生じています。

そのなかでも、もっとも経費がかかっているのがペットボトルです。ペットボトルは重さの割に体積が大きく、運搬が非効率的になってしまうために、他の資源と比べてとても費用がかかります。

便利なペットボトルですが、買う時には、リサイクルや廃棄にかかる費用のことも考えてください。

	集積所回収	分別回収	拠点回収	集団回収等	合計
	(古紙)	(びん・缶・ペットボトル等)	(ペットボトル・紙パック・乾電池等)	(古紙等)	
経費総額(千円)	80,436	228,427	33,109	60,485	402,457
資源量(トン)	3,711	2,640	151	5,833	12,335
kg当たりの原価(円)	22	87	219	10	平均 33



1人あたり1年間にかかる費用は...約2,000円

※計算式：年間資源回収量 ÷ 台東区人口 × 1kg 33円



1年間 2,000円

ごみの処理費用と比べると資源のほうが安く処理できるんだね



問題.9 >> 生ごみから作ることができるのは次のうちどれでしょう？

- ① コルク
- ② 電気・ガス
- ③ トイレットペーパー

